



議会だより

あ い か わ

第 113 号

責任者 議会議長 熊澤俊治
年 4 回発行・本号16ページ



冒険の森（県立あいかわ公園）

平成19年度予算を可決

一般会計は126億5千300万円（前年比3.6%増） P 2

「職員の勤務時間、休暇等に関する条例」を一部改正 P 4

町政を問い、議案を審議！ 一般質問、総括質疑 P 7～13

平成19年 5 月15日

＜ 3 月定例会 ＞

○発行/愛川町議会 編集/議会だより編集委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

平成19年第1回愛川町議会「3月定例会」は、3月1日に開会し、会期23日間（本会議開催日5日間）にわたり開催されました。

この定例会では、条例の新設・改正をはじめ新年度予算や補正予算、事件議案では、厚木愛甲環境施設組合の規約変更、町道路線の廃止・認定、合計で26件の町長提出議案を可決しました。

また、議員提出議案として「町議会委員会条例の一部を改正する条例」など3件を提出し、可決しました。

本号では、これら「3月定例会」の内容を中心にお知らせいたします。

総額230億9千400万円
平成19年度当初予算決まる

○一般会計予算

○老人保健特別会計予算

(以上賛成15人・反対2人)

○国民健康保険特別会計予

算

○介護保険特別会計予算

○下水道事業特別会計予算

○水道事業会計予算

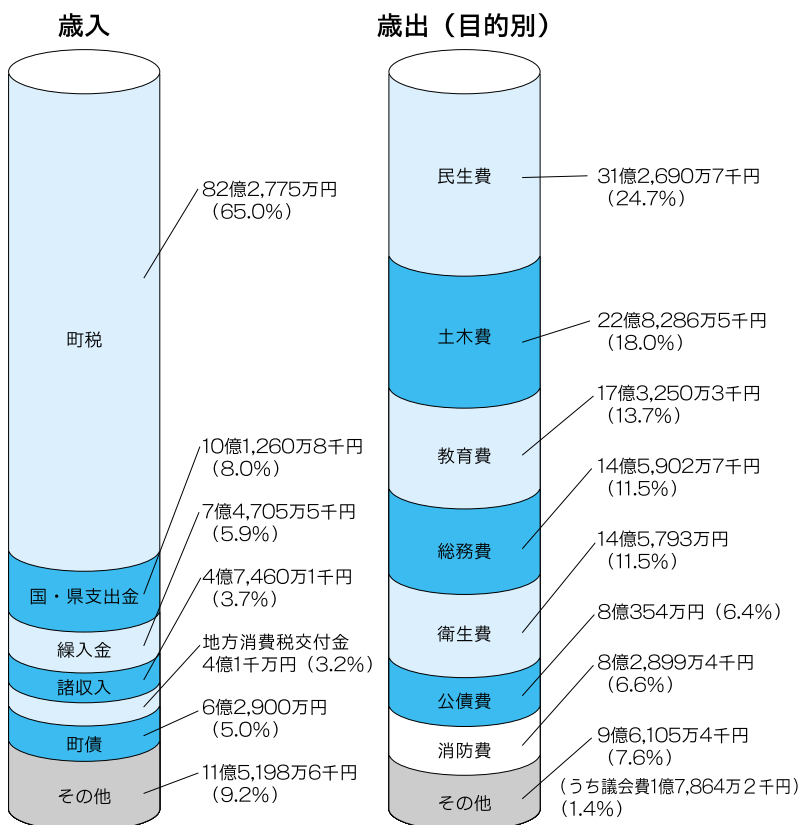
(以上賛成全員)

※議長は表決に含みません。

各合計予算額

会計名	予算額	構成比	前年度比	
一般会計	126億5,300万円	54.8%	3.6%	
特別会計	国民健康保険	44億7,300万円	19.4%	14.7%
	老人保健	20億1,900万円	8.7%	7.0%
	介護保険	13億7,500万円	6.0%	7.4%
	下水道事業	16億4,200万円	7.1%	△9.6%
	小計	95億900万円	41.2%	7.0%
水道事業会計	9億3,200万円	4.0%	13.4%	
合計	230億9,400万円	100.0%	5.4%	

一般会計予算の構成



平成19年第1回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
3	1	木	本 会 議	提出議案の説明、議員提出議案の質疑から採決及び委員会付託
	2	金	本 会 議	一般質問 (6人)
	5	月	本 会 議	一般質問 (4人)
	7	水	本 会 議	補正予算及び事件関係議案の質疑から採決、新年度予算の会派代表総括質疑、委員会分割付託の決定
	8	木	総務建設常任委員会 教育民生常任委員会	付託事件の審査
	12	月	総務建設常任委員会	付託事件の審査
	13	火	教育民生常任委員会	付託事件の審査
	14	水	総務建設常任委員会 教育民生常任委員会	付託事件の審査
	15	木	総務建設常任委員会	付託事件の審査
	22	木	本 会 議	付託事件の審査結果及び委員長報告、質疑、討論、採決

各常任委員会での質疑要旨

総務建設常任委員会

問 副町長を一人とした理由及び収入役廃止の考えについて

答 自治法の改正に伴い、現行の助役・収入役の特別職を副町長に一本化するもので、現体制で適切に運営されていることから、定数を1人としています。

収入役については、会計管理者への円滑な移行とトップマネージメント機能を副町長に一本化します。

問 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の休憩時間廃止に伴う職員の理解につ

いて

答 職員組合の意見を尊重して、終業時間を現行の午後5時15分のままとし、休憩時間を12時15分から午後1時までの45分間とします。

問 交通安全指導嘱託員報酬に男女差を残す理由について

答 現段階では、まったく同じ職務とはいえないことから、男性嘱託員の報酬額は据え置き、女性嘱託員の報酬額を現行の男性嘱託員と女性嘱託員の平均額の8万5千円に引き上げるものです。

問 中小企業事業資金融資

条例貸付限度額の変更理由について

答 景気回復傾向により、企業の設備投資が堅調に推移していることや、貸付枠拡大の要望を受け、企業の事業規模の拡大・拡充を支援するため、貸付限度額を「5百万円」から「1千万円」に引き上げるものです。

問 町ホームページの取り組みについて

答 18年度は、ライフイベント別にメニューを見直しトップページデザインを一新してホームページ全体のデザインを変更しました。19年度は、新規掲載内容の再編成などにより、より利便性の高いホームページづくりを目指します。

問 バス交通体系再編等調査事業費について

答 「利用しやすい、利用されるバス交通を、行政・町民・交通事業者の協力のもとに作る」という目標を掲げ、町民生活に密着した町内循環バスの見直しを図るための調査事業費を計上したものです。

問 里山づくり事業について

答 八菅山・尾山地区は、

県の「里山保全推進事業」の採択を受け、神奈川力構想のモデル地区に位置付けられ、19年度は、古道の復元と樹林や竹林等の整備を行い、自然の豊かな里山の復元や、溪流の保全を図るものです。

問 公園健康遊具の設置について

答 子供からお年寄りまでの健康づくりを目的として、健康の維持増進、体力づくりや介護予防など、高齢社会に対応した公園づくりに取り組めます。

教育民生常任委員会

問 障害者自立支援法に係る町独自の負担軽減策・支援について

答 地域生活支援事業の日常生活用具と補装具の購入は、低所得者に対し軽減策を設けています。

また、自立支援給付のヘルパー派遣や短期入所を含め、移動支援及び日中短期事業と合算で上限設定を行い、超えた場合は町が負担するなどの支援策を講じています。

問 子育て支援紙おむつ支給事業と経緯について



中津第二小プール改修塗装工事を調査 (教育民生常任委員会)

答 第2子以降の子を出産された世帯に1年間支給し子育て世帯の経済的な負担の軽減を図りました。

事業化に至った経緯は、町主催の「子育て中の親と町長との懇談会」で要望があり、近隣の厚木市でも実施していることから新規事業として計画しました。

問 子育て世帯家賃助成について

答 民間賃貸住宅に居住し、第3子以降の子を出産された世帯に対し、月額家賃の3分の1を助成し、2万円を限度額とするものです。

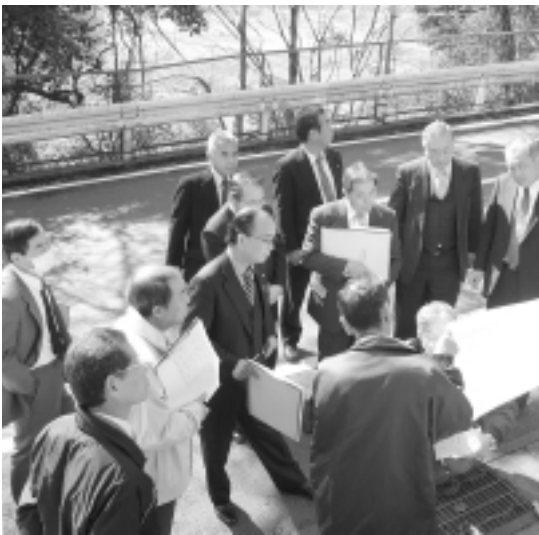
問 第1号八園体育館トレー

ニングルーム空調機設備工事について

答 町民の健康志向の増大に伴い施設の環境整備に係るニーズが高まる中で、利用者も増加の一途を辿っていることから、良好な室内環境づくりに向けエアコンを設置します。

問 高齢者バス割引乗車券購入費助成事業について

答 神奈中が販売する割引乗車券1年券9千円の購入費用の一部を助成するもので、助成金額は7千円で対象者は平成19年度中で70歳以上の方です。



半原238号線(馬渡大坂)歩道整備を調査 (総務建設常任委員会)

新設条例

助役から副町長へ名称変更

◎副町長の定数に関する条例
例 (賛成15人・反対2人)

ポイント▶本条例の制定は、地方自治法の改正に伴い、助役に代えて置くこととなった副町長の定数を条例で定めることから、新たに副町長の定数を定めたものです。

主な改正条例

午前の勤務時間が8時30分から12時15分

◎職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正
(賛成全員)

ポイント▶休息時間に相当する制度が、ほとんど普及していない民間企業の勤務形態との整合を図るため、地方公務員においても、同様の対応が求められていることから、1日2回、それぞれ15分間ずつ設けていた

休息時間を廃止し、改正後の実質的な昼休みの時間が

15分短縮され、休憩時間は12時15分から午後1時までの45分間に改正するものです。

事業資金貸付限度額を引き上げ

◎中小企業事業資金融資条例の改正
(賛成全員)

ポイント▶景気が回復基調にあることから、企業の設備投資を支援するため、中小企業事業資金の貸付限度額を1企業につき「500万円」から「1千万円」に引き上げるものです。

◎基金条例の改正
(賛成全員)

ポイント▶目的基金として設置している消防施設整備基金については、既に開発行為に伴う寄付制度を廃止しているため基金残高が少額となっています。

また、平成19年度当初予算において、基金残高の全額を一般会計に繰り入れる予定であることから廃止するものです。

◎職員定数条例等の改正

(賛成全員)

ポイント▶本条例等の改正は、地方自治法の一部改正に伴い、助役に代えて副町長を置くことから、職員定数条例をはじめ関係条例に規定する「助役」を「副町長」に改めるものです。

◎職員の給与に関する条例の改正
(賛成全員)

ポイント▶少子化対策が我が国全体で取り組まれている中で、扶養手当における3人目以降の子と2人目までの子の手当額の差を改める必要があることから、国家公務員と同様に、3人目以降の子等の支給月額を千円引き上げ、2人目までの支給額と同額の6千円に改正するものです。

◎廃棄物の処理及び清掃に関する条例の改正
(賛成全員)

ポイント▶事業系系ごみの一般廃棄物処理手数料について、近年のごみ排出量の増加、ごみ処理経費との整合及び近隣市町との均衡を勘案し、現行の1キログラムにつき「18円」を2円増の「20円」に改正します。

行政改革大綱 委員報酬の見直し

◎非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の改正
(賛成全員)

国民健康保険運営協議会委員

改正前			改正後		
職名	支給区分	報酬額	職名	支給区分	報酬額
会長	年額	46,000円	委員	日額	8,000円
委員	年額	41,000円			

※ただし医師は、日額10,000円

ポイント▶町行政改革大綱に基づく見直し等により、非常勤特別職の報酬を別表のとおり改正するものです。

交通安全指導嘱託員

改正前			改正後		
職名	支給区分	報酬額	職名	支給区分	報酬額
嘱託員(婦人)	年額	63,000円	嘱託員(女性)	年額	85,000円

障害程度区分認定審査会委員

改正前			改正後		
職名	支給区分	報酬額	職名	支給区分	報酬額
委員	日額	19,000円	委員(医師)	日額	21,000円
			委員(医師以外)	日額	19,000円

介護認定審査会委員

改正前			改正後		
職名	支給区分	報酬額	職名	支給区分	報酬額
委員	日額	19,000円	委員(医師)	日額	21,000円
			委員(医師以外)	日額	19,000円

◎行政手続条例の改正
(賛成全員)

ポイント▶行政手続法の一部改正に伴い、同法の条項に移動があったため、所要の条文の整理を行うものです。法「第38条」を法「第46条」に改正するものです。

◎道路占用料徴収条例の改正
(賛成全員)

ポイント▶道路法施行令の一部改正に伴い、施行令の条項に移動があり、所要の条文の整理を行ったものです。

◎農業委員会の選挙による委員の定数条例の改正
(賛成12人・反対5人)

ポイントⅡ「農業委員会の組織等検討委員会」からの答申に基づき、農業委員会の選挙による委員の定数を「15人」から「10人」に改正するものです。

議員提出議案

◎町議会委員会条例及び町議会会議規則の改正について

(賛成全員)

ポイントⅡ地方自治法の改正に伴い、閉会中の議長による常任委員の選任、常任委員会の所屬替え・変更、委員長・副委員長の互選等について、委員会条例を改正するものです。

また、「委員会」による議案の提出、委員会提出議案の付託に関する規定、閉会中に議長が、条例の定めにより、議運の委員を選任できることから会議規則の条文に所要の改正をします。

18年度最終補正 事件議案

億4,110万円とするものです。

◎国民健康保険特別会計補正予算

◎老人保健特別会計補正予算

◎介護保険特別会計補正予算

◎下水道事業特別会計補正予算

◎水道事業会計補正予算

◎厚木愛甲環境施設組合の規約変更

◎町道路線の廃止・認定
(以上、賛成全員)

請願・陳情のゆくえ

今回の定例会で結論(3月22日)の出た請願は次のとおりです。

結論の出た請願

(敬称略)

件名	結論	陳情者
○地方税ポータルシステム(eLTAAX)の早期導入を求めることに関する請願	趣旨採択 (起立全員)	厚木市栄町一丁目16番15号 厚木商工会議所406号室 社団法人 厚木法人会 会長 伊藤 栄一

議員研修会を開催 講師に日本テレビ(株)チーフ プロデューサーを招く

平成19年2月16日(金)

午後2時から、町役場会議室において、町幹部職も参加した「議員研修会」を行いました。

講師の今村氏は、日本テレビ放送網(株)のスポーツ情報局チーフプロデューサーとして箱根駅伝をはじめ、人気番組「ザ!鉄腕!DASH!」などの製作も担当されています。

講演では、「現状を疑え、発想の転換」と題し、鉄腕DASHの製作にあたり、会社製作承認経過や地元自治体とのかわり方のほか当初製作では、あえて番組



講師 今村 司氏

経験のまったく無いスタッフを登用し、新たな発想を掘り起こすための人材を求めた番組づくりの苦労話などを伺いました。

特に、ゴールデンの時間帯に農業と地元の高齢農業経験者を絡めた番組制作をしたことなど、先入観を持たず現状の把握や発想の転換によって評価が変わったことなどの内容を話され、本町にとって大変意義のある研修会となりました。

後期高齢者医療広域 連合副議長に 林茂議員が就任

県下14町村議会議員の中から、議員に当選され平成19年3月23日に開催された、後期高齢者医療広域連合議会で副議長に林茂議員が選任されました。

【任期】平成20年6月30日まで



一般質問

誘致は厚木北部病院と協議中
山田町長「春日台病院に代わり地域医療を担っていたが、安心して入院できる病院の誘致は喫緊の最重要課題であります。新病院建設の誘致について、厚木北部病院を始め関係機関と協議・調整しているが、2次医療機関として病床数は150ベッド、診

新病院建設で地域医療の充実を
井上 博明議員

井上議員「春日台病院が3月20日をもって閉鎖になります。町民の方から地域医療の充実が求められているが、新しい病院建設に向けての取り組みを伺う。

学習サポーター増員の取り組み
井上議員「学校教育の充実について、12月議会において、小・中学校に派遣している学習活動サポーターの増員を要請してきました。新年度における取り組みは、

教育的効果高く中学校も実施
熊坂教育長「現在、学習サポーターは、各小学校に2人、各中学校に1人の計15人を派遣しています。教科等の学習面、集団生活の適応面等さまざまな点から、教育的効果が高く重要な事業として受け止めています。平成19年度は、小学校は従来どおり各校2人、中学校は1人増員の各校2人の派遣を行います。

町長交際費の公開町ホームページで
熊坂 徹議員

質問事項①地域医療②学校教育③馬渡橋の架替

熊坂議員「町長交際費をホームページ等で公開する自治体が増えていきます。本町においては、すでに、他の市町村に先駆け、平成16年3月に自治基本条例が制定されました。条例には住民参加のまちづくりが謳われ、そのためには情報公開（共有）が不可欠であるとされています。そうした視点に立ち、町長交際費の公開について伺う。

行政責任問われる今年度から実施
山田町長「本町では、県下の町村に先駆け、平成12年

1月から情報公開制度を設けています。行政の情報公開や説明責任が問われる時代の中で、町行政の円滑な運営と透明性のある町政の一環として、ホームページ

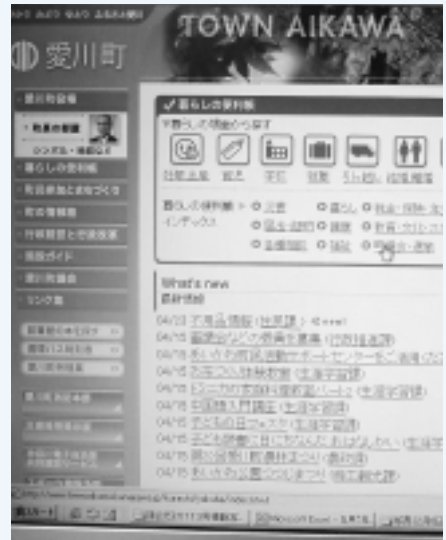
による交際費の公開を行うことは大切ですので、平成19年度から実施していくこととし、現在、その準備を進めているところです。

入札制度の見直し・改善
熊坂議員「現在、町では電子入札の導入へ向けた取り組みが行われていますが、電子入札の導入にあわせ、従来の入札制度そのものの見直し・改善が求められています。そこで、入札制度の改革

特に、一般競争入札の導入へ向けた取り組みについて伺う。

システム導入時に制度の見直し検討
山田町長「昨年、入札に関連する指針の一部が改正され、一般競争入札の拡大や価格競争から価格と品質で総合的に優れた工事へと転換していく制度づくりが国から求められるようになりました。したがって、現在進めている神奈川電子入札共同システムによる電子入札の本格的導入とあわせ、これらの入札制度の見直しを検討したいと考えています。

質問事項①市町村合併



町HPトップページ

少人数学級 町としての考え



近藤 幸子議員

近藤議員「町内の小・中学校では、学区または学年によって1クラス当たりの人数に、ばらつきがある。本町の少人数学級の導入に向けての考えは。」

導入の考えなし 他支援策で対応

熊坂教育長「19年度には、少人数学級を導入する考えはありません。」

学校の選択として少人数学級を編成し、学校生活の基本的な場の充実を図るか、少人数授業により授業の充実を図っていくのかの判断に分かれます。

本町ではそのどちらも補完する町独自の取り組みと

して、中学校にも学習活動サポーターの配置を各校2名に増員しました。
また、支援教育アドバイザーの巡回派遣事業を新た

に立ち上げ、各種教育相談のほかに、不登校など個別に支援が必要な生徒への対応等各種学校教育活動の充実に努めています。

シルバー人材センター 団塊世代に再就労の場を

近藤議員「生きがい事業団が法人化され、シルバー人材センターとしてスタートする。」

職を迎える中で、入会されることが想定されます。町としても組織の強化と運営充実のために、運営費

2007年問題も含め、高齢者の再就労の拠点でもあるシルバー人材センターに対する町からの支援と、作業場の確保について。

の助成を行うとともに、庁舎分館の一室を事務所及び活動拠点として利用していただく等、シルバー人材センターの活動が円滑に推進できるように支援をしていきます。

運営費等の支援 作業所は次の課題

山田町長「昭和22年以降生まれの団塊の世代が定年退

質問事項①シルバー人材センター②中学校給食③少人数クラスの導入



シルバー人材センターの新しい事務室

次期総合計画 策定要綱の手法は



小島 総一郎議員

小島議員「第4次総合計画は、平成22年度までの15年計画で、行政運営を進めるための基本であるが、次期総合計画の策定要綱は今までと同じ手法か伺う。」

町民皆さんの意見 伺いながら進める

山田町長「策定要綱の内容は、目的や考え方、計画の名称、構成、期間、策定の基本方針、策定組織、職員参加、町民参加の手法などと策定に係る基本的な考えを定めています。」

行政と、まちづくりの主人公である町民や企業、各種団体や議会など、多くの意見、参画をいただいて策



町の将来計画を定める
第4次愛川町総合計画

定を進めています。
今後基本的な考え方や策定の手法を示すものなので

町民皆さんの意見を伺いながら定めていく方向で考えています。

温暖化防止 校庭の芝生化など

小島議員「温暖化防止に向けた校庭の芝生化や屋上緑化への取り組みについて伺う。」

理の面での効果があります。維持管理や養生期間中は校庭の使用が制限され、体育の授業にも影響が生じることから、今後の研究課題とさせていただきます。

コストや維持管理 今後の課題

熊坂教育長「校庭の芝生化への取り組みは、排気ガス等の公害による環境負荷が増大しないように、酸素をつくり出す緑を増やすための一つの方法です。」

また、屋上緑化についても環境面では大切であると認識していますが、整備コストや維持管理などの問題から、屋上緑化についても研究課題とさせていただきます。

精神的、情緒的な健康管

質問事項①総合計画②温暖化防止

雨水幹線整備の進捗状況について



小倉 英嗣議員

小倉議員「豪雨により毎年全国各地で大災害が発生して、多くの犠牲者が出ています。

本町でも雨水幹線整備が急務であり、私は以前から積極的な取り組みを求めてきましたが、半原小前の野尻雨水幹線と、下新久番田沢雨水幹線の進捗状況を伺う。

18年度に事業着手 早期完成に努力

山田町長「昨今の雨の降り方は、短時間に特定地域に集中する傾向が強く、豪雨による浸水被害防止が急務となっております。

そこで、17年度には原田

児童館から両向児童館までの延長440メートルの実設計を行い、18年度にはローソンまで整備し、19年度は国道を横断した地点まで同様の推進工法により整備します。残り241メートルは、21年度の完成を目標に整備を考えています。番田沢幹線は国庫補助申請を提出し、採択後2年で整備予定です。



一部整備が完了した三増馬渡線西坂法面整備

西坂法面事業の崩落対策

小倉議員「町道三増馬渡線は、カーブや坂が多く、事故が多発しています。一部歩道が未整備で拡幅改良時の安全対策が急務です。特に愛中先の西坂は法面の木が大木化してトンネル状態で落石もあり、崩落の危険性を指摘してきました。事業の進捗状況を伺う。

を結ぶバス路線であり、災害に強い道路整備が必要と考えています。歩道の未整備箇所もありますが、西坂280メートルの法面対策を最優先に取り組み、18年度に擁壁工事33メートルに着手し、19年度には97メートルの法面対策工事の予定ですが、残りの法面対策工事はできる限り早く完了したいと考えています。質問事項①番田沢左岸の町道②防犯パトロールの助成③有害鳥獣対策と予算

擁壁工事を最優先 利用者の安全確保

山田町長「本路線は県道間

半原台地の沢整備 今後の計画は



成瀬 和治議員

成瀬議員「半原台地には柄沢、深沢等多くの沢があり危険な場所がある。町では県への要望等、今後の計画について伺う。

深沢・馬渡沢は完了 県へ引き続き要望

山田町長「深沢、馬渡沢については、谷止・流路・山腹工事などの整備が完了しています。柄沢は、県による谷止め工4基が設置してあるが、流路・山腹工事などの整備はされていない状況で、県への要望は、平成17年度から継続的に柄沢治山事業について要望しているが、県

を勘案しながら検討すると回答です。今後については、町は引き続き危険箇所のパトロー

循環バス再編今後の進め方

成瀬議員「循環バスについて改善してほしいとの要望が多く寄せられ、総合交通計画案の中でも検討されています。利用者ニーズに関する調査・検討を行い、調査終了後、関係機関等との調整を経て、法的手続きを行い、平成20年度中の運行開始を目指していきたいと現時点では考えています。また、有料化や運行回数

有料化や運行回数 増加を検討

山田町長「総合交通計画の中の取り組みとして、町内循環バスの再編に向けた検討します。質問事項①半原交番移設②防災関係③町内循環バス



町内循環バス = 愛川バスセンター

外国籍住民へ 大きな文字の看板



小林 敬子議員

小林議員「ごみ収集所に、大きな文字で外国語のごみの分別ガイドを自主的に掲示しているところがあります。」

資源ごみ 分別イラスト設置

伊従環境経済部長「分別ガイドも必要とは思いますが、いろいろな国の外国住民の方がいられますので、国ごとに作成をすることができるとは作れるかどうかが。」

また、ごみ収集所の利用者の方がこの国の方からならないなど難しい問題で

中学校給食

授業への影響は

あります。当面は、ごみ出しがうまくいかない収集所には資源置するなどの対応を考えています。

小林議員「教育委員会では中学校給食を実施する上での授業への影響についてどのように捉えているか。」

カリキュラム 見直しを検討

齋藤教育次長「中学校給食の導入に当たっての授業への影響などについては、学校からお聞きしています。現在の日課では、弁当を食べる時間が15分、昼休み

20分、合計35分です。給食を導入した場合、小学校と同様な方式とする配膳盛り付けに10分、片付け5分の計15分を新たに日課に盛り込む必要があります。

新たな日課ですと終了は午後4時15分となり、部活動などの時間が短縮されるという課題もあります。質問事項①ごみの減量②学校給食③県道65号線の事故防止策



ごみの分別ガイドが掲げられているごみ収集所＝中津上熊坂地内

地籍調査 事業実施の考え



鳥羽 清議員

鳥羽議員「昨年の9月定例会で質問した地籍調査全体事業費の90%が、町の負担であるとの答弁だが、その算出根拠及び今後の事業実施の考えを伺う。」

多様化対応を優先 今後の研究課題

山田町長「本町の調査対象有資格面積は、31・88平方キロメートルであり、この有資格面積に対する補助対象経費や人件費などを試算すると、全体総事業費が約44億211万円となり、これに対する補助金額が4億3,870万円、全体事業費の約10%が補助金となり、90%が町の負担と試算



一般耐震診断補助制度を担当する都市施設課＝役場新庁舎3階

耐震診断補助制度の考え

鳥羽議員「耐震診断の強化に向けての取り組みと、耐震化に向けた補助制度の考えについて。」

また、19年度からは住宅耐震改修工事が必要であるか判断することができるとの結果、改修工事が必要となった工事費の補助として改修工事費に要する費用の2分の1の額、50万円を限度として補助をしていきます。

簡易から一般へ 50万を限度に補助

山田町長「耐震診断強化の取り組みは、平成17年度から安全・安心なまちづくりの一環として簡易耐震診断費用の一部を助成していま

先に推進していることから、地籍調査については、今後の研究課題と考えています。

山田町長「遊休農地を一時的に他の目的に使用することとは、農業振興地域の整備に関する法律、農地法など関係法令により、制限されています。」
公共事業などで一時的に農用地を資材置き場などに使用する場合で、農業委員

農業以外の使用 法令により困難

一時的に遊休地を、ソフトボール場、ドックグラウンドなど他の目的で使用できる可能性があるか伺う。

**遊休農地
他目的の利用は**



佐藤 茂議員



県道54号線さくら坂歩道

山田町長「さくら坂は、時期によっては枯れ木や枯れ

通行に支障 落葉の除去依頼

質問事項①町の農政②通学路の安全確保

安全な歩道の維持管理について町の考えを伺う。

さくら坂歩道の安全確保

佐藤議員「さくら坂の歩道は歩行者や自転車を通り、時期によつては草、枯れ木、枯れ草などで通行がしにくく危険な状態である。」
「地から除外する必要があり、これらの使用は、農業振興地域の整備に関する法律にあげる除外要件を満たしていないため困難です。」

山田町長「一般的な耐震構造指標Is値は0・6だが、本庁舎は低い場所ので0・53という結果がでました。」
これは、地震による建物被害が、見た目で、ひび割れが起きていても建物は倒れないという「中破」の状態

倒壊の恐れ低い 当時は60年を想定

また、コンクリート強度も不足しているが町の考えを伺う。

**本庁舎の安全性
耐用年数は何年**



山中 正樹議員

山中議員「耐震診断の結果、基準不適合が判明したが、利用者の安全性対策は、本庁舎は築後30年だが、耐用年数ほどの程度を想定していたか。」

山田町長「延伸については小田急電鉄に長期間に渡り要望していますが、建設費及び採算性から難しいとの回答を頂いています。」

引き続き 小田急へ要望

前回の質問から2年が経ったが、この間の客観情勢の変化について伺う。

町総合交通計画策定 多摩線延伸の位置付け

山中議員「総合交通計画の中で、多摩線延伸計画の位置付けは、計画案では新交通誘致致位置付け、周辺市町村と連携し、中量輸送システムの調査研究を進め、多摩線の本町への延伸を関係機関に要望する内容を掲げています。」



本町への延伸が望まれる
(小田急多摩線唐木田駅操車場)

況であり、大破や倒壊の恐れが低いため、お客様の生命・安全性は確保されていると考えています。
また、コンクリート強度については、当時の基準値210の強度をクリアしています。

条例・予算議案の総括
質疑を会派代表制によ
り、実施しました。
○印が質問者

会派 あいかわクラブ

- 梶原 正弘 議員 林 茂 議員
- 中山 民子 議員 鈴木 一之 議員
- 成瀬 和治 議員 馬場 司 議員

Q 休日窓口サービスの内容について

いる方や、家庭で子育てに専念している方などを対象にした、地域において育児の援助を受けた方と育児の援助を行う、育児の相互援助活動を行うための会員組織の子育て事業です。

3月の第3週以降の土・日の4日間を午前8時30分から午後5時まで住民異動届や住民票の写しなどの交付を行います。

Q 高齢者等火災警報器設置費用助成金について

A 住宅用火災警報器の設置が義務づけられたことに伴い、65歳以上のひとり暮らし及び高齢者のみの世帯を対象に9千円の助成をします。

費用助成金について
A 住宅用火災警報器の設置が義務づけられたことに伴い、65歳以上のひとり暮らし及び高齢者のみの世帯を対象に9千円の助成をします。

Q 子育て支援対策事業ファミリーサポートセンターについて

A 働きながら子育てをして

会派 愛政クラブ

- 小倉 英嗣 議員
- 熊澤 俊治 議員
- 水越 恵一 議員

Q 有害鳥獣対策の取り組みについて

するとともに、獣害による農作物被害を軽減するため簡易な防除柵や電気柵を設置した農家に設置費用の一部の助成や電動エアガン購入費の補助を行います。

A 有害鳥獣対策の取り組みについては、サル追い払い用電波受信施設を新たに2基設置し、鳶尾群、経ヶ岳群のサル移動監視員の配置、弊山地区へ約500メートルの獣害防止電気柵を設置

Q 田代保育園アスベスト除去工事について

のため、各部屋のアスベスト環境測定を平成17年度は9月と10月に、18年度は7月と1月に実施しました。いずれも問題のない数値でありましたが、さらなる保育環境の安全確保と保護者の不安解消を図るため、19年度にアスベスト除去工事を実施します。

会派 あすか

- 鳥羽 清 議員
- 山中 正樹 議員
- 小島 総一郎 議員

Q 保育園のエアコン設置事業について

めるとともに、各種現地調査やイベントなど効率的な事務事業の推進を図るために購入します。

Q エアコン設置工事については平成17・18年度にわたり毎年計画的に設置工事を行っています。

Q 愛川健康体操普及事業について

A 平成17・18年度の2カ年にわたり、健康づくりの指針となる「愛川町健康プラン」を作成しました。

A 平成17・18年度の2カ年にわたり、健康づくりの指針となる「愛川町健康プラン」を作成しました。

Q ハイブリット車導入の理由について

健康寿命の延伸と生活習慣病予防が重要であり、生活習慣の改善を図るためには、運動をより積極的に行う必要があることから、本町独自の健康体操を創作し町民の中から指導者を養成して、普及をさせていきます。

A 共用車両の更新に合わせあいかわエコアクションプランに基づき、低公害車両の導入を図り、環境に配慮したまちづくりの推進に努

健康寿命の延伸と生活習慣病予防が重要であり、生活習慣の改善を図るためには、運動をより積極的に行う必要があることから、本町独自の健康体操を創作し町民の中から指導者を養成して、普及をさせていきます。



子育て相互支援活動事業

Q 田代保育園アスベスト除去工事について

A 園児の日常での安全確認

会派 共産党

○井上 博明 議員
小林 敬子 議員

Q 職員の政策能力に向けた取り組みについて

A 職員研修計画を策定し、庁内研修や市町村研修センターへの派遣研修、その他自己啓発の研修の3項目を主な柱として、積極的に職員の資質向上に努めています。

今後職員主体性や積極性を尊重し、自己研鑽への意欲をさらに高めるため研修内容の充実を図っていきます。

Q 防災対策と中・長期的な取り組みについて

A ソフト対策を前進させ、防災講話や防災教室、防災訓練を一層推進していきます。

中・長期的な取り組みについては、一般住宅耐震化への取り組みや避難誘導体制の整備を図っていきます。Q いじめ・不登校対策の取り組みについて
A いじめの対策では、いじめ問題に対する指導体制等の評価やいじめに関する実

態調査などに取り組んでいます。

不登校対策については、不登校児童・生徒の実態把握

握、不登校対策冊子の発行や相談指導教室の体制の充実を図っています。

また、いじめ・不登校の共通対策として、直接電話による相談窓口の開設、家庭訪問相談員・学校教育相談員による相談内容の充実



放課後子どもプラン事業の一つである放課後児童クラブ内の様子

会派 みらい

○熊坂 徹 議員
○近藤 幸子 議員

Q 本町における格差問題について

A 雇用形態による格差や地域格差が議論されている中で、本町ではすべての町民の方々が住みよいと思える

まちづくりに向け、住民生活に直結する施策、事務事業の充実を図り、総合計画の実現に向けて努力します。

Q 地域医療のあり方とビジョンについて

A 町民の方々が健康で生き生き暮らせるためには、病気の治療を中心とする医療や予防が地域に普及していくことが重要であり、病院や診療所が他の保健機関と連携し、地域ぐるみで活動することが求められています。

また、地域医療体制のビジョンについて、地域密着型の拠点病院の設置や高度専門的医療機関との広域的連携など医療機関の適切な連携を進め、患者の生活の質を高めることが重要です。

Q 放課後子どもプランの取り組みについて
A 平成18年度に半原・田代・中津第二小学校区に放課後児童クラブを開設し、残りの高峰、菅原、中津小学校が19年度開設に向け準備を進めています。

また、小学校1年生から6年生までの児童を対象とした、「かわせみ広場」も実施しているため、当面は放課後子どもプランの事業の一つである放課後児童クラブを全小学校区で開設し、町独自の方法で行っている「かわせみ広場」についても充実した運営に取り組んでいきます。

無会派

森川 絹枝 議員

Q 新年度の歳入歳出における財政効果について

A 歳入の財政効果について事業系一般廃棄物の手数料改定に伴い、平成17年度の搬入量から試算すると年間約420万円の増収見込みとなります。

また、歳出の財政効果は、国民健康保険運営協議会委員の報酬を年額から日額に変更することによって、21万円余りの削減が図られます。

Q 人件費の増額について

A 平成19年度的一般職の職員数は前年度より6人の減です。

通常であれば人件費が削減できますが、来年度は選挙が多く、4月の県知事・県議選、そして7月の参議院選、さらには農業委員の選挙、秋の町議会議員の選挙などに伴い、職員の時間外勤務手当が増額の要因となっています。



真剣に体育の授業を受ける児童

討 論

賛成

あいかわクラブ 成瀬 和治 議員

あいかわクラブを代表し賛成の立場で討論します。

町副町長定数条例は、助役にかえて置くことになった副町長の定数を定めるもので適正です。今後、事務権限の委任等により副町長の職務は今まで以上に高度化することから、町政発展のため、町長を補佐しつつ職務に精励されることを希望します。

平成19年度一般会計予算では、歳入の町税が、三位一体の改革に伴う税制改革により、所得税から町民税に税源移譲され、個人・法人町民税とも高い伸びを示しており、町税全体でも10・5%の伸びであり、心強く思います。

衛生費では、紙類ステーション回収事業が昨年の10月より実施され、美化プラントの可燃物焼却量が減少されるなど、大きな効果があります。

将来、ごみ処理の広域化が実現するまでの間、効果

的な運営と施設の適正な維持管理をお願いします。

都市計画関係では、新たな木造耐震診断の助成と改修費用の一部を助成するなど、先進都市を見習って災害に強いまちづくりの取り組みを評価します。

水道事業会計については、災害時の飲料水の確保体制のため、細野浄水場配水池緊急遮断弁の設置や中津浄水場の非常用電気設備の設置など、災害時において安定した水道水の供給ができることから評価します。

以上、条例をはじめ新年度予算に取り組まれた担当職員に心から感謝します。



活発な意見

賛成

愛政クラブ 小倉 英嗣 議員

愛政クラブを代表し賛成の立場から討論します。

平成19年度愛川町一般会計予算について、前年度に比べ4億4千200万円、3・6%の増であります。地方税収が増える一方、三位一体改革による国からの交付金が廃止されるなどの不安要因もあります。

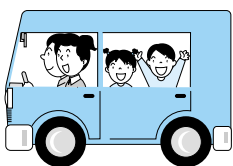
今後、高齢化率の増加に伴う大変厳しい行政運営が予想されますが、国・県の補助金や町債の活用、基金の取り崩しなどにより財源確保が保たれていますが、耐震診断に伴う役場本庁舎問題や、春日台病院閉鎖に伴う新病院の誘致と緊急性の高い問題が山積していることから、補助金要綱の見直しをし、町民アイデアまちづくり事業をはじめ、各種補助金についても精査して取り組むよう要望します。

財産管理経費では、環境に配慮したハイブリッド車の購入であり高く評価します。新規事業であります、高

齢者バス割引乗車購入費助成事業の「かなちゃん手形」であります。70歳以上の高齢者の外出機会が増えることが期待されますことから評価します。

有害鳥獣対策は、前年比204%の増でサル追い払い用電波受信器をはじめ、移動監視員の配置など事業が拡大されたことを高く評価します。

水道事業会計では、水道施設防災対策事業として、緊急遮断弁や非常用発電機の設置のほか、配水管設備改良事業など良質な水の安定供給に努めることであります。が、クリプトスポリジウム等の原虫対策や地震等防災備蓄用に使えるポトルウォーターについても前向きに検討するようお願いいたします。



賛成

あすか 鳥羽 清 議員

あすかを代表し賛成の立場で討論します。

非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例については、町行政改革大綱に基づく見直し等による改正であり、中でも交通安全指導嘱託員は、「婦人」から「女性」への文言の変更は時代に即しており適正です。しかし、報酬額については男女間格差の解消に向けた取り組みを今後お願いします。

総務費では、暮らしの便利帳の全戸配布は、町民にとって大変役立つ事業であると高く評価します。

民生費の高齢者バス割引乗車券購入費助成事業「かなちゃん手形」については、高齢者福祉に対する取り組みであり評価します。

衛生費では、3月20日の春日台病院の閉鎖に伴い新たな総合的な病院の建設として、厚木北部病院が進出予定であるようですが、病院建設にあたり、町長をはじめ、担当部署のご苦労に

感謝します。しかし、開設までの間、医療サービスの充実等できる限りの支援をお願いします。

消防費の、外国籍のため多言語防災マップ作成については、外国籍住民の多い本町としては防災意識の高揚や災害に対する備えに大変役立つものと考えます。

最後に、町民すべてが夢と希望を持てるような町の構築に向け、さらなる研究と努力をお願いします。

日本共産党を代表し提案されました議案に対し賛成討論をします。

新年度予算では、だれもが安心して暮らせる町を目指すとした子育て、教育、生きがい対策に配分した予算だと思えます。

一方、手数料・使用料など町独自で賦課できる公共料金の引き上げもされており、国保、介護、老人保健などへの一般会計からの繰り入れなど税負担の軽減に努められている点について評価します。

災害に強いまちづくりを進める上で、災害弱者への支援自主防災組織の強化に向けて、企業への支援、企業防災を含めた対策をより一層進めていただきたいと思います。

子育て支援対策では、サポートセンター、紙おむつ、家賃補助など支援の一助になると思えます。

教育では、いじめ、不登校解消の対策のほか、少人



賛成

共産党 井上 博明 議員

数学級の拡充、学習サポートの増員についても取り組みをお願いします。

介護保険特別会計では、平成18年度から高齢者の個人住民税の非課税措置の廃止・縮小などにより、保険料負担が重くなる事態が発生しています。

本町の保険料滞納額が17年度は372万円であります。厚生労働省でも保険料のあり方について検討を進めています。本町でも独自の軽減策の拡充を図って、安心して介護サービスが受けられるように努めていただきたいと思います。

町民活動サポートセンターがスタートしましたが、町が本気で公共公益活動の支援、協働のまちづくりに取り組むつもりなら、もっと抜本的な対策を考えるべきだと思います。

有料広告制度は、新年度から町HPに有料（各企業5千円）で広告が掲載され

19年度一般会計予算に反対の討論をします。

町長は子育て支援と教育生きがいづくりに重点を置いた積極型予算だと言われていますが、子育て支援の紙おむつ支給事業や高齢者への「かなちゃん手形」の助成といった一般受けするサービス事業が目立ちます。

町道幣山・下平線の事業費予算は倍増、批判の強い郷土資料館の建設に2年間の継続事業で4億3千万円が予定されています。

この二つの事業は子育て支援にも産業経済の振興、税収の確保にもつながりません。

新しい病院の誘致ですが新しい病院誘致に全力で取り組んでいることに深く敬意を表します。町にとって緊急の最重要課題でありますので、幣山・下平線や郷土資料館の建設は一時中断して、病院の誘致とあわせ、総合保健福祉センターの設備に全力で取り組むべきだと思います。

新しい病院の誘致ですが新しい病院誘致に全力で取り組んでいることに深く敬意を表します。町にとって緊急の最重要課題でありますので、幣山・下平線や郷土資料館の建設は一時中断して、病院の誘致とあわせ、総合保健福祉センターの設備に全力で取り組むべきだと思います。

新しい病院の誘致ですが新しい病院誘致に全力で取り組んでいることに深く敬意を表します。町にとって緊急の最重要課題でありますので、幣山・下平線や郷土資料館の建設は一時中断して、病院の誘致とあわせ、総合保健福祉センターの設備に全力で取り組むべきだと思います。

新しい病院の誘致ですが新しい病院誘致に全力で取り組んでいることに深く敬意を表します。町にとって緊急の最重要課題でありますので、幣山・下平線や郷土資料館の建設は一時中断して、病院の誘致とあわせ、総合保健福祉センターの設備に全力で取り組むべきだと思います。

新しい病院の誘致ですが新しい病院誘致に全力で取り組んでいることに深く敬意を表します。町にとって緊急の最重要課題でありますので、幣山・下平線や郷土資料館の建設は一時中断して、病院の誘致とあわせ、総合保健福祉センターの設備に全力で取り組むべきだと思います。



反対

みらい 熊坂 徹 議員

19年度一般会計予算に反対の討論をします。

町長は子育て支援と教育生きがいづくりに重点を置いた積極型予算だと言われていますが、子育て支援の紙おむつ支給事業や高齢者への「かなちゃん手形」の助成といった一般受けするサービス事業が目立ちます。

町道幣山・下平線の事業費予算は倍増、批判の強い郷土資料館の建設に2年間の継続事業で4億3千万円が予定されています。

この二つの事業は子育て支援にも産業経済の振興、税収の確保にもつながりません。

新しい病院の誘致ですが新しい病院誘致に全力で取り組んでいることに深く敬意を表します。町にとって緊急の最重要課題でありますので、幣山・下平線や郷土資料館の建設は一時中断して、病院の誘致とあわせ、総合保健福祉センターの設備に全力で取り組むべきだと思います。

新しい病院の誘致ですが新しい病院誘致に全力で取り組んでいることに深く敬意を表します。町にとって緊急の最重要課題でありますので、幣山・下平線や郷土資料館の建設は一時中断して、病院の誘致とあわせ、総合保健福祉センターの設備に全力で取り組むべきだと思います。

新しい病院の誘致ですが新しい病院誘致に全力で取り組んでいることに深く敬意を表します。町にとって緊急の最重要課題でありますので、幣山・下平線や郷土資料館の建設は一時中断して、病院の誘致とあわせ、総合保健福祉センターの設備に全力で取り組むべきだと思います。

新しい病院の誘致ですが新しい病院誘致に全力で取り組んでいることに深く敬意を表します。町にとって緊急の最重要課題でありますので、幣山・下平線や郷土資料館の建設は一時中断して、病院の誘致とあわせ、総合保健福祉センターの設備に全力で取り組むべきだと思います。

新しい病院の誘致ですが新しい病院誘致に全力で取り組んでいることに深く敬意を表します。町にとって緊急の最重要課題でありますので、幣山・下平線や郷土資料館の建設は一時中断して、病院の誘致とあわせ、総合保健福祉センターの設備に全力で取り組むべきだと思います。

新しい病院の誘致ですが新しい病院誘致に全力で取り組んでいることに深く敬意を表します。町にとって緊急の最重要課題でありますので、幣山・下平線や郷土資料館の建設は一時中断して、病院の誘致とあわせ、総合保健福祉センターの設備に全力で取り組むべきだと思います。

新しい病院の誘致ですが新しい病院誘致に全力で取り組んでいることに深く敬意を表します。町にとって緊急の最重要課題でありますので、幣山・下平線や郷土資料館の建設は一時中断して、病院の誘致とあわせ、総合保健福祉センターの設備に全力で取り組むべきだと思います。

新しい病院の誘致ですが新しい病院誘致に全力で取り組んでいることに深く敬意を表します。町にとって緊急の最重要課題でありますので、幣山・下平線や郷土資料館の建設は一時中断して、病院の誘致とあわせ、総合保健福祉センターの設備に全力で取り組むべきだと思います。

新しい病院の誘致ですが新しい病院誘致に全力で取り組んでいることに深く敬意を表します。町にとって緊急の最重要課題でありますので、幣山・下平線や郷土資料館の建設は一時中断して、病院の誘致とあわせ、総合保健福祉センターの設備に全力で取り組むべきだと思います。

新しい病院の誘致ですが新しい病院誘致に全力で取り組んでいることに深く敬意を表します。町にとって緊急の最重要課題でありますので、幣山・下平線や郷土資料館の建設は一時中断して、病院の誘致とあわせ、総合保健福祉センターの設備に全力で取り組むべきだと思います。

新しい病院の誘致ですが新しい病院誘致に全力で取り組んでいることに深く敬意を表します。町にとって緊急の最重要課題でありますので、幣山・下平線や郷土資料館の建設は一時中断して、病院の誘致とあわせ、総合保健福祉センターの設備に全力で取り組むべきだと思います。



町民の声

“蛍の思い出”



飯塚 浩 さん

(田代在住)

今でも思い出されるのが、引越してきた当日、テレビが写らない。子供から糾弾され、どうしよう…翌日に共同アンテナを使用すれば良いことがわかる。

下調べ無しの転居だったため失敗したこと、その晩は寝付かれなかったことを記憶している。

昭和五六年のことだから、あれから四半世紀が経過したことになる。

居住環境は山在り川在りで、私としては子供の時から希望であり申し分の無い

地である。

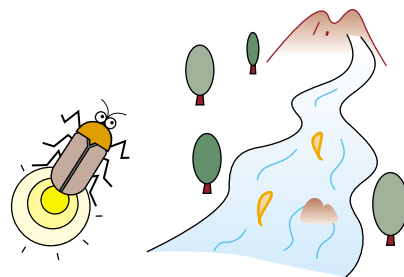
ある晩、家の近くを散歩していると水路の傍らで蛍が群舞しているのに出会う。蛍の生態を実際にするのが初めてだったので感激し家に帰って大話した思いがある。

後にその地に田代運動公園が建設され、その場所を通ると思い出される。

運動公園の河原には陽気が良くなるかと近郊近在から特に夏は川遊びの人々で立錫の余地がないほどである。

また、その人達によって吐き出されるゴミも想像を

超える量である。遊びに来られるのは良いが是非マナーを守って楽しんでいただきたい。



傍聴のお知らせ

6月定例会は下表のとおりです。本会議はいずれも午前9時から開会されます。また、本定例会の運営を協賛する議会運営委員会は、5月23日(水)に開催予定です。

平成19年第2回定例会日程(予定)

月	日	曜	会 議 名
6	1	金	本会議 (提出議案の説明)
	5	火	本会議 (一般質問)
	6	水	本会議 (一般質問)
	8	金	総務建設常任委員会、教育民生常任委員会
	13	水	本会議(総括質疑・討論・採決)

陳情・請願の締切日は5月16日(水)になります。日程が変更になる場合もありますので、詳しくは議事

議 会 事 務 局 職 員 人 事 異 動 4月1日付

- (新) 議会事務局主任主事 阿部 成彦
 - (管財契約課主任主事) (旧) 管財契約課主査 高瀬 紀之
- (議会事務局主査)

ご覧ください 会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは、下表の町公共施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。

なお、3月定例会の会議録は6月中には備え付けができません。

会議録設置施設

- 半原出張所
- 中津出張所
- 役場本庁窓口
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

編集後記

山々が色濃くなり、レジャーにも最適な季節となりました。

本年3月20日に、春日台病院の閉鎖で町内に入院のできる病院がなくなるといいう暗いニュースがあり、町では、厚木北部病院の誘致に向け全力で取り組んでいます。

さて、3月定例会では、議会改革の一環として条例や新年度予算などの各議案に対して会派代表制(個人含む)で総括質疑を行い、活性化に努めています。

今後も読みやすい議会だよりを目指し、編集委員一同努力します。

- 議会だより編集委員会
- 委員長 小林 敬子
 - 副委員長 馬場 司
 - 委員 成瀬 和治
 - 委員 小倉 英嗣
 - 委員 近藤 幸子
 - 委員 山中 正樹
 - 委員 佐藤 茂
 - 委員 鈴木 一之
 - 委員 小島総一郎